

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 01土木総務費

事務事業番号 08010101

事業名		土木車両整備事業		担当部署	都市建設部 維持課						
根拠法令		道路法									
令和3年度決算額		40,849	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	40,000	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	849	千円								
事業費（総計）		42,962	千円								
決算額		40,849	千円								
人件費		2,113	千円								
事業の目的		除雪トラック（平成10年度登録）の老朽化に伴う更新です。									
事業の内容		除雪トラックの更新									
SDGs17の目標											
		【正面】		【側面】							
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		土木車両の更新			台	1	2	1			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							除雪トラックは、車道の除雪を行う車両であり、市民の暮らしを守るために必要であり、市民の安全・安心な生活に大きく寄与しているため、「4」としました。		
効率性			●						老朽化した土木車両の更新を図ることで、維持管理費の抑制及び車両の安全性が向上することができたため、「3」としました。		
公平性			●						除雪トラックを更新することにより、除雪車の台数確保をすることができ、市民への公平性が保たれているため、「3」としました。		
将来性		●				市民の安全・安心な生活を守るためには、土木車両整備は必要不可欠であり、今後も継続して実施していく必要があるため、「4」としました。					
総合評価		A				評価項目のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できています。今後も、市所有の土木車両整備を引き続き行い、安定的な道路維持が遂行され、市民の安全・安心な生活を守るよう整備を進めてまいります。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010201

事業名		マイホーム建設促進特例融資事業		担当部署	都市建設部 総務課												
根拠法令																	
令和3年度決算額		22,800	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>									
財源内訳	国道支出金		千円														
	地方債		千円														
	その他	22,800	千円														
	一般財源		千円														
事業費（総計）		22,870	千円														
決算額		22,800	千円														
人件費		70	千円														
事業の目的		<p>国の景気浮揚策に連動した経済活性化対策の一環として、市民の持ち家建設を促進し、住環境と福祉の向上を図るため、市内金融機関の協力を得て平成11年から13年にかけて実施した事業です。</p>															
事業の内容		<p>融資の受付は既に終了しましたが、市民に融資を行った金融機関に対する預託事業は継続しています。</p> <p>事業の内容は、金融機関の貸付残高に協調倍率（市の預託金と金融機関資金の割合）を乗じた金額を4月に預託、以後、毎月の返済額に応じて預託金の追加又は戻入を行い、年度末に預託金を全額返還させるというものです。</p> <p>また、年度当初の協調倍率は1月末時点の長期プライムレートにより決定しますが、7月末時点のレートに当初比で±0.3%以上の増減があった場合は、10月に協調倍率を変更し、預託金の調整を行います。</p> <p>令和4年3月報告に基づく金融機関融資状況と令和3年度預託実績</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>金融機関</th> <th>融資件数</th> <th>貸付残額 (千円)</th> <th>協調倍率 (市：金融機関)</th> <th>預託額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苫小牧信用金庫 ほか7行</td> <td>230</td> <td>714,364</td> <td>1：29.7</td> <td>22,800</td> </tr> </tbody> </table>						金融機関	融資件数	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)	苫小牧信用金庫 ほか7行	230	714,364	1：29.7	22,800
金融機関	融資件数	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)													
苫小牧信用金庫 ほか7行	230	714,364	1：29.7	22,800													
SDGs17の目標																	
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度									
		預託額（決算額）			千円	22,800	14,900	39,200									
項目評価		高→低				評価の理由											
		4	3	2	1												
有効性		●				約1,200件の利用があり、市民の持ち家建設の促進が図られました。また、融資を行う金融機関の負担軽減に必要な事業であることから、「4」としました。											
効率性			●			預託金は全額戻入されるため市の財政的な負担はほとんどありません。一方、融資の償還期限まで預託を行うため、事務処理が長期に亘ることから、「3」としました。											
公平性				●		対象が本事業を利用して融資を受けた市民に限定されることから、「2」としました。											
将来性		●				預託が終了する令和19年度まで事業を継続する必要があることから、「4」としました。											
総合評価		<b>A</b>				市民に融資を行った金融機関の負担軽減のため、今後も必要な事業です。											
特記事項		当初、融資の返済期限は最長で25年でしたが、金融円滑化法の施行に伴い11件で返済期間の延長が行われ、現在は最長で令和19年までとなっています。															

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010202

事業名		住宅耐震・リフォーム支援事業		担当部署	都市建設部 建築指導課					
根拠法令										
令和3年度決算額		53	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	53	千円							
事業費（総計）		123	千円							
決算額		53	千円							
人件費		70	千円							
事業の目的		この事業は、平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用して金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を利子補給金として補助することを目的とします。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>平成21年度から平成23年度に実施した事業で、住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助する事業です。（融資限度額650万円（耐震改修を行わない場合500万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）</p>								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		住宅耐震・リフォーム支援事業の利子補給件数			件	24	51	85		
項目評価		高→低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●							平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民に対して利子補給を行うために必要な事業であることから、「4」としました。
		効率性		●						この事業では、3年間で約5億円のリフォーム工事が実施され、これに対する市の利子負担見込額は約2,800万円と費用対効果が大きい事業となっていますが、市の利子補給期間が長期に渡ることから、「3」としました。
		公平性			●					平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民のみが対象となっていることから、「2」としました。
将来性	●				市の利子補給が終了する予定である令和8年度まで事業を継続する必要があることから、「4」としました。					
総合評価		A				平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民に対して、利子補給を行うために今後も必要な事業です。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費


目 02建築指導費

事務事業番号 08010203

事業名		住宅リフォーム促進事業		担当部署	都市建設部 建築指導課					
根拠法令										
令和3年度決算額		11,364	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>		
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	11,364	千円							
事業費（総計）		12,068	千円							
決算額		11,364	千円							
人件費		704	千円							
事業の目的		住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民が快適な住生活を営むための住宅リフォームを支援することを目的とし、木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、木造住宅の耐震改修等の費用の負担を軽減し、耐震化を促進すること目的としています。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 住宅耐震・リフォーム支援事業 住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苦小牧市が利子補給金として補助します。（融資限度額650万円（耐震改修を行わない場合500万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）</p> <p>2 木造住宅耐震改修等補助金交付事業 耐震診断や耐震改修工事の負担を軽減し、住宅の耐震化を促進するための費用の一部を補助金として助成します。（耐震診断又は耐震設計を行なう場合は10万円を上限に、耐震改修を行う場合は60万円を上限に市が補助します。）</p>								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		住宅耐震・リフォーム支援事業の利用件数			件	89	91	85		
		木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用件数			件	0	0	0		
項目評価		高→低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性		●						住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、令和3年度も予定する融資工事額に達していますが、木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用がなかったことから、「3」としました。
		効率性		●						令和3年度の事業では、約2億円のリフォーム工事が実施され、これに対する市の利子負担見込額は約1,200万円と費用対効果が大きい事業となっていますが、市の利子補給期間が長期に渡ることから、「3」としました。
		公平性		●						住宅は、市民生活の基盤であるとともに、都市や街並みの重要な構成要素であり、住宅を耐震化又はリフォームすることで、市街地の安全性を確保し、良好な住環境を形成することができることから、「3」としました。
将来性	●				住宅を耐震化又はリフォームすることにより、安全で快適に住み続けられる住宅を整備することは、良質なストック形成と流通促進に資するものであることから、「4」としました。					
総合評価		<b>A</b>				住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、地域経済への波及効果も大きいことから、今後も事業を実施していきたいと考えています。 木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、住宅の耐震改修等の促進を図るために必要な事業であることから、今後も事業を実施していきたいと考えています。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費 項 02道路橋りょう費 目 01道路橋りょう維持費 事務事業番号 08020101

事業名		雪氷対策費		担当部署	都市建設部 維持課			
根拠法令								
令和3年度決算額		604,637	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	604,637	千円					
事業費（総計）		621,684	千円					
決算額		604,637	千円					
人件費		17,047	千円					
事業の目的		除雪や路面凍結等に伴う渋滞、スリップ、歩行困難などの交通障害を解消し、安全で快適な交通機能確保するため、車道及び歩道の除雪や凍結防止剤散布を行うものです。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>凍結防止剤等の購入 車道や歩道の凍結路面对策として、凍結防止剤やすべり止め砂の購入をしました。</li> <li>除雪作業業務 積雪量、雪質、路面状況、気象予報などの情報収集を行い、積雪量10cm以上を目安として除雪作業を行いました。</li> <li>除雪車運行管理システム保守 除雪車運行管理システムを活用し、除雪作業状況の把握をし、市民からの除雪作業状況に関する問い合わせに対し、速やかに情報提供を行えたほか、作業が遅れている地域への除雪協力の要請を行い、作業時間の短縮を行いました。</li> </ol>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		除雪作業			回	47	12	16
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				市民の冬の暮らしを守るため、除雪作業は欠かすことができないため、「4」としました。		
効率性			●			除雪車運行管理システムを活用し、作業が遅れている地域への除雪車の追加配置を行うなど、効率的な除雪作業を行い、作業時間の短縮を図っているため、「3」としました。		
公平性			●			道路パトロールにより路面状況の把握のほか、気象予報などの情報収集により除雪作業を行っていることから「3」としました。		
将来性		●				除雪作業は冬期の安全で快適な交通機能確保するため、重要であることから「4」としました。		
総合評価		<b>A</b>				評価項目のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できています。この事業は市民生活に直結する重要な事業であるため、近年頻発している大雪に備え、除雪機械の台数確保や配置見直しなど、体制の強化に取り組んでまいります。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020201

事業名		社会資本整備総合交付金事業（道路整備事業）		担当部署	都市建設部 道路建設課、維持課						
根拠法令		道路法									
令和3年度決算額		116,168	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	65,346	千円								
	地方債	41,500	千円								
	その他		千円								
	一般財源	9,322	千円								
事業費（総計）		128,141	千円								
決算額		116,168	千円								
人件費		11,973	千円	総合評価							
					<b>A</b>						
事業の目的		<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網を確保します。</p>									
事業の内容		<p>1 舗装道路の改築・修繕（幹線道路） 歩道のバリアフリー化をはじめ、安全・安心な道路交通網の整備をするほか、老朽化した舗装の修繕を実施しました。</p>									
SDGs17の目標											
		【整備前】		【整備後】							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		舗装道路の改築・修繕			路線 (km)	3路線 (0.8km)	5路線 (1.5km)	2路線 (0.6km)			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							老朽化が進む道路を計画的に改築・修繕を行うことで、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。		
効率性			●						より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。		
公平性		●							全ての利用者にとって、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。		
将来性		●				本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。					
総合評価		<b>A</b>				<p>項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、市民の安全・安心な道路交通網を確保する手段として非常に有効であることから、今後も引き続き、計画的かつ効率的に取り組みを実施してまいります。</p>					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020202

事業名		単独道路舗装事業		担当部署	都市建設部 道路建設課			
根拠法令		道路法、苫小牧市道路の構造の技術的基準に関する条例						
令和3年度決算額		541,485	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債	470,300	千円					
	その他	700	千円					
	一般財源	70,485	千円					
事業費（総計）		579,239	千円					
決算額		541,485	千円					
人件費		37,754	千円	総合評価	<b>A</b>			
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら、主に生活道路における未舗装道路を対象に、安全・安心な道路交通網を確保します。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 未舗装道路の舗装整備 路面状態が悪く、雨水処理されていない未舗装道路を整備しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p> </div> </div>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		未舗装道路の整備		路線 (km)	32路線 (4.0km)	36路線 (3.7km)	34路線 (4.0km)	
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						未舗装道路を計画的に整備するにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。
効率性			●					より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。
公平性			●					まちかどミーティングなどの地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから「3」としました。
将来性		●				本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。		
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、まちかどミーティングなど地域住民から特に要望の多い事業であるため、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮しながら、計画的かつ効率的に整備を進めてまいります。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020203

事業名		単独道路新設改良費		担当部署	都市建設部 維持課、道路建設課			
根拠法令		道路法						
令和3年度決算額		617,796	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債	107,800	千円					
	その他		千円					
	一般財源	509,996	千円					
事業費（総計）		639,629	千円					
決算額		617,796	千円					
人件費		21,833	千円					
事業の目的		社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮し、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、改築・修繕を行い安全・安心な交通道路網を確保します。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>区画線標示業務 : 磨耗・剥離した区画線の再標示</li> <li>アスファルト舗装補修業務 : 路面に生じた穴などの損傷をパッチングにより部分的に補修</li> <li>道路清掃業務 : 人力による歩道や中央分離帯等の清掃</li> <li>道路施設補修業務 : 雨水桝の設置、縁石等道路付属物の補修・改良</li> <li>舗装道路改修工事 : 舗装、縁石などの老朽化した道路施設を全面的に改修</li> <li>舗装道路修繕工事 : 老朽化した舗装の表層部を全面的に修繕</li> <li>街路灯LED化改修工事 : 水銀灯やナリウム灯の街路灯をLED照明に転換</li> <li>測量調査費 : 地質調査、舗装構造評価、道路路面調査</li> <li>道路附属物修繕工事 : 自立式道路照明灯の更新</li> <li>道路事業等調査業務 : 交通量調査</li> </ol>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		老朽化した舗装道路の改修			km	7	8	9
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				劣化状況に応じた効果的な補修方法や対策を実施したことで、市民にとって安全で安心な道路交通網を確保することが出来ていることから、「4」としました。		
効率性			●			市民の声や町内会・各団体などの要望を元に、道路の損傷規模に応じて、より少ない費用で必要な効果が得られる補修方法を検討しておりますが、全面的な補修が事後保全となっていることから、「3」としました。		
公平性			●			改築修繕に伴う路線選定は、市民の声や町内会・各団体などの要望を元に道路パトロールを行い、補修対策の要否や重要度を判断するなど十分な検討を行っておりますが、事業の対象地区が限定されていることから「3」としました。		
将来性		●				市内の道路整備や街路灯のLED化は即効性のある効果が期待できる事業となっており、本事業を継続して実施することが重要であることから、「4」としました。		
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を押し進めていきたいと考えています。		
特記事項								



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020204

事業名		特定防衛施設周辺調整交付金事業		担当部署	都市建設部 維持課					
根拠法令		道路法								
令和3年度決算額	44,330	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>			
財源内訳	国道支出金	28,040	千円							
	地方債	900	千円							
	その他		千円							
	一般財源	15,390	千円							
事業費（総計）	53,486	千円								
決算額	44,330	千円								
人件費	9,156	千円								
事業の目的	<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。</p>									
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>1. 防雪柵の設置 視程障害や吹きだまりが発生し、通行が困難になる道路に防雪柵を設置しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>設置前</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>設置後</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>設置効果</p> </div> </div>									
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度				
	防雪柵の設置		km	0.1	0.1	0.1				
項目評価	高→低			評価の理由						
	4	3	2					1		
	有効性	●								防雪柵の設置は、主目的である冬期の視程障害や吹きだまりを防止する手段として非常に有効であり、設置区間は安全な車両の通行を確保することができていることから「4」としました。
	効率性	●								防雪柵設置は、冬期の視程障害の規模に応じて必要な機能を確保することはもとより、経済的な整備方法を検討することで、将来にわたってその効果が得られることから、「4」としました。
	公平性		●							防雪柵設置は、町内会などの要望をもとに現地パトロールを実施し、現地確認など十分な路線の検討を行っておりますが、事業の対象地区が限定されていることから、「3」としました。
将来性	●				防雪柵設置区間は冬期の市民の交通の安全に直結するもので、必要区間に継続的に実施していくことが重要であることから、「4」としました。					
総合評価	<b>A</b>			<p>項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。事業を進めることは安心して安全な道路交通網を確保する手段として非常に有効であることから、今後も引き続き市民サービスに直結する取り組みを実施してまいります。</p>						
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020205

事業名		道路ストック総点検事業		担当部署	都市建設部 維持課																															
根拠法令		道路法																																		
令和3年度決算額		5,764	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> <td rowspan="6"> </td> <td rowspan="6"> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="6">A</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国道支出金</td> <td>3,456</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,308</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（総計）</td> <td>7,173</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>5,764</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> <td>1,409</td> <td>千円</td> </tr> </table>	項目評価			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="6">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	財源内訳	国道支出金	3,456	千円	地方債		千円	その他		千円	一般財源	2,308	千円	事業費（総計）		7,173	千円	決算額		5,764	千円	人件費		1,409	千円
項目評価			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="6">A</td> </tr> </table>		総合評価				A																											
総合評価					A																															
財源内訳	国道支出金					3,456				千円																										
	地方債									千円																										
	その他									千円																										
	一般財源			2,308		千円																														
事業費（総計）		7,173	千円																																	
決算額		5,764	千円																																	
人件費		1,409	千円																																	
事業の目的		<p>活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を確保するため、老朽化が進む社会資本ストックの損傷状態を把握します。</p>																																		
事業の内容  SDGs17の目標  		<ol style="list-style-type: none"> <li>道路附属物点検 道路照明の点検を行い、損傷状態を把握します。</li> <li>道路照明施設補修 道路照明の点検結果に伴い、早急な対応が必要と判断された場合に補修を行います。</li> </ol>																																		
		電気開口部断面欠損 		支柱断面欠損 		支柱基部断面欠損 																														
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度																													
		道路附属物点検		基	124	207	172																													
項目評価		高→低		評価の理由																																
		4	3	2	1																															
有効性		●				道路照明は老朽化が進んでおり、倒壊による第三者被害防止のため点検を実施して、損傷状態を把握し計画的な修繕を行うための有効な診断結果が得られたことから、「4」としました。																														
効率性		●				道路照明点検により、得られた診断結果をもとに、効率的な維持管理を実施していることから、「4」としました。																														
公平性			●			道路照明点検箇所については、設置年度の古いものや老朽化が進む海岸線沿いなど地域特性を考慮して実施しておりますが、事業の対象地区が限定されていることから、「3」としました。																														
将来性		●				道路照明点検だけでは効果が見えにくい事業ではありますが、維持管理修繕の優先順を決めるのにあたり重要な役割を果たしており、継続的に実施することが重要であると考えていることから、「4」としました。																														
総合評価		A		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できており、より効率的で効果的な道路照明の更新・修繕の実施に繋がる事業を実施してまいりたいと考えています。																																
特記事項																																				

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020206

事業名		単独道路交通安全対策事業		担当部署	教育部 学校教育課、都市建設部 道路建設課				
根拠法令		道路法							
令和3年度決算額	79,761	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>		
財源内訳	国道支出金	千円							
	地方債	71,700						千円	
	その他	千円							
	一般財源	8,061						千円	
事業費（総計）	86,804	千円							
決算額	79,761	千円							
人件費	7,043	千円							
事業の目的	平成26年度から平成30年度において小学校周辺道路における交通安全対策を実施し、効果検証から対策は有効的な取組みであったが、主として学校周辺のための整備であったことから、今後は対象範囲を小学校指定通学路全体へ拡大し、さらなる交通安全対策の取り組みを強化していく必要があります。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>1 小学校指定通学路の交通安全対策 車両速度抑制対策や防護柵設置などを実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p> </div> </div>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度			
	小学校指定通学路の交通安全対策		校	3校	3校	-			
項目評価	高→低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							車両速度抑制対策を始めとする交通安全対策を実施することにより、通学路の安全・安心な通行が確保できることから「4」としました。
	効率性		●						より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。
	公平性	●							通学路を通行する児童のみならず、沿線住民など歩行者全体の安全・安心な通行が確保できることから「4」としました。
将来性	●				本事業は、歩行者の安全・安心な通行を確保する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。				
総合評価	<b>A</b>				項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、通学路の交通安全対策として非常に有効であることから、今後も引続き、計画的かつ効率的に取り組むを実施してまいります。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020207

事業名		再編関連訓練移転等交付金事業（道路整備事業）		担当部署	都市建設部 道路建設課						
根拠法令		道路法									
令和3年度決算額		6,391	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	6,300	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	91	千円								
事業費（総計）		12,730	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>A</b></td> </tr> </table>				総合評価		<b>A</b>	
総合評価											
<b>A</b>											
決算額		6,391	千円								
人件費		6,339	千円								
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 未舗装道路の舗装整備（実施設計業務） 路面状態が悪く、雨水処理されていない未舗装道路を次年度以降に整備するための実施設計を行いました。</p>									
実施結果（活動指標）											
		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度				
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●						<p>実施設計を行うことで、未舗装道路を次年度以降速やかに整備できることから「4」としました。</p> <p>より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。</p> <p>まちかどミーティングなどの地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから「3」としました。</p> <p>本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。</p>			
効率性			●								
公平性			●								
将来性		●									
総合評価		<b>A</b>				<p>項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、まちかどミーティングなど地域住民から特に要望の多い事業であるため、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮しながら、計画的かつ効率的に整備を進めてまいります。</p>					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020208

事業名		道路メンテナンス補助事業		担当部署	都市建設部 道路建設課				
根拠法令		道路法							
令和3年度決算額		410,745	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>	
財源内訳	国道支出金	244,800	千円						
	地方債	126,700	千円						
	その他		千円						
	一般財源	39,245	千円						
事業費（総計）		447,656	千円						
決算額		410,745	千円						
人件費		36,911	千円						
事業の目的		<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む橋梁の健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網を確保します。</p>							
事業の内容		<p>1 橋梁長寿命化 事後対応型の管理から予防保全型の管理へ転換することで、架け替えなどにかかるライフサイクルコストの縮減を図りました。</p>							
SDGs17の目標									
【整備前】						【整備後】			
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		橋梁長寿命化・耐震補強			橋	3橋	2橋	2橋	
項目評価		高→低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				老朽化が進む橋梁を計画的に改築・修繕を行うことで、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。			
効率性			●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。			
公平性		●				全ての利用者にとって、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。			
将来性		●				本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。			
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、市民の安全・安心な道路交通網を確保する手段として非常に有効であることから、今後も引き続き、計画的かつ効率的に取り組みを実施してまいります。			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 03河川費

目 02河川改良費

事務事業番号 08030201

事業名		単独事業（河川整備事業）		担当部署	都市建設部 維持課				
根拠法令		河川法、苫小牧市普通河川管理条例							
令和3年度決算額		186,456	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>将来性</span> <span>効率性</span> </div> <div style="text-align: center;"> </div>					
	地方債	158,900	千円						
	その他		千円						
	一般財源	27,556	千円						
事業費（総計）		212,172	千円					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>総合評価</b>  <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</span> </div>	
決算額		186,456	千円						
人件費		25,716	千円						
事業の目的		安全・安心な市民生活を確保するため、河川管理施設の保全や環境整備を実施することにより、老朽化した護岸の改良や水辺に親しめる施設整備を行います。							
事業の内容		<p>1. 護岸改良工事 河川の増水時に隣接する道路などの崩壊につながるため、老朽化した護岸を改良します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後</p> </div> </div> <p>2. 環境整備工事 水辺に親しめる施設を整備します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後</p> </div> </div>							
SDGs17の目標									
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		護岸改良		河川	5 河川	4 河川	4 河川		
		環境整備		河川	2 河川	3 河川	3 河川		
項目評価		高→低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				集中豪雨などによる浸水被害などを防止・軽減し、緑豊かな水辺空間を創出するなど、市民の安全・安心な生活に大きく寄与していることから、「4」としました。			
効率性			●			河川等の規模に応じて必要な機能を確保することはもとより、経済的な整備方法を検討して事業展開していることから、「3」としました。			
公平性				●		河川周辺の居住者等の要望を踏まえ、パトロールを実施し、老朽化等への対策の要否や、重要度を判断したうえで事業を展開していることから、「3」としました。			
将来性		●				市民の安全・安心な生活に関わるものであり、機能を維持し続けていく必要があることから、「4」としました。			
総合評価		A		評価のとおり概ね目的に適った事業を展開できています。 今後も引き続き、護岸整備や河道しゅんせつなどを行い、河川の流下能力を確保するとともに、水辺に親しめる施設整備を行うことで、より一層の安全・安心で身近な河川となるよう整備を進めてまいります。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 01都市計画総務費

事務事業番号 08040101

事業名		地籍調査事業		担当部署	都市建設部 開発管理課			
根拠法令		国土調査法						
令和3年度決算額	6,039	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>	
財源内訳	国道支出金	3,512	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	2,527	千円					
事業費（総計）	15,689	千円						
決算額	6,039	千円						
人件費	9,650	千円						
事業の目的	国土調査法に基づき当該地籍調査を効率的に進めるため、先行的に街区境界調査を行い、道路や水路等（以後「長狭物」と接する土地について所有者や地番の調査を行うと共に、その土地と長狭物とが接する部分の境界に関する測量を行い、成果については法務局に送付します。また、地籍調査で得られた成果については、大規模災害から迅速に復旧・復興を図る上で有効に活用されるほか、課税の適正化及び公共事業や土地取引を円滑に進めるためなどに利用されます。							
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に策定した全体計画に基づき、小糸井町1丁目の地籍調査（街区境界調査）を行いました。</li> <li>地籍調査について、市民周知を図るためにパンフレットを作成しました。</li> </ol>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
	地籍調査事業（街区境界調査）			小糸井町1丁目地区 (地籍調査実施)	小糸井町1丁目地区 (既設街区基準点点検)	全体計画作成		
項目評価	高→低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						本事業を進めることは、本地区で大規模災害が起こった場合などに事業成果を活用し迅速に復興・復旧を図ることが出来ると考えていることから「3」としました。
	効率性	●						公共基準点を活用するため新たな基準点を設置せずに測量が出来ることや、住民へ周知する際にパンフレットを配布することで地籍調査への住民理解が高まると考えていることから「3」としました。
	公平性	●						本事業の公平性を確保しつつ、本市の全対象区域を各地区に分け、それぞれの地区の優先する条件を考慮して全体計画を作成し、計画に基づき事業を進めていることから「3」としました。
将来性	●			1 調査区域に概ね3年程度時間を要することから、全市の調査完了までには莫大な費用と期間が必要となりますが、継続的に地籍調査を進めることで効果が大きくなると考えておりますことから「4」としました。				
総合評価	<b>A</b>				事業の進捗状況についてはおおむね予定通りですが、今後地籍調査を円滑に進めるためには、地権者を含む住民理解が不可欠であることから、パンフレットはもとより、ホームページなどを活用し地域住民などへ周知を図っていきたくと考えています。			
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040201

事業名		オートリゾートセンターハウス・温浴施設等補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課			
根拠法令								
令和3年度決算額		21,559	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	21,559	千円					
事業費（総計）		21,559	千円	<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>			総合評価	A
総合評価								
A								
決算額		21,559	千円					
人件費		0	千円					
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等に伴う利用料金等の減収分について、補填を行います。						
事業の内容 SDGs17の目標		指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等における減収分を補填しました。						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度		
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				指定管理者の減収分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから、「4」としました。		
効率性		●				指定管理者が安定した施設の維持・管理が行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。		
公平性		●				施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから、「4」としました。		
将来性		●				本事業を中止すると、施設の継続的な運営に影響が及ぶことから、「4」としました。		
総合評価		A				新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せないなかで、本事業は指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要であると考えています。		
特記事項								



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040202

事業名		公園施設補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課					
根拠法令										
令和3年度決算額		174	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>		
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	174	千円							
事業費（総計）		174	千円							
決算額		174	千円							
人件費		0	千円							
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等に伴う利用料金等の減収分について、補填を行います。								
事業の内容 SDGs17の目標		<p>緑ヶ丘公園指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等における減収分を補填しました。</p>								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度		
項目評価		高→低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●							指定管理者の減収分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから、「4」としました。
		効率性	●							指定管理者が安定した施設の維持・管理が行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。
		公平性	●							施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから、「4」としました。
将来性	●				本事業を中止すると、施設の継続的な運営に影響が及ぶことから、「4」としました。					
総合評価		<b>A</b>				新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せないなかで、本事業は指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要であると考えています。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040301

事業名		社会資本整備総合交付金事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		都市公園法									
令和3年度決算額		65,984	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	28,961	千円								
	地方債	25,100	千円								
	その他		千円								
	一般財源	11,923	千円								
事業費（総計）		77,396	千円								
決算額		65,984	千円								
人件費		11,412	千円								
事業の目的		潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出し、誰もが安全・安心に利用できる公園の整備を進めます。									
事業の内容 SDGs17の目標		社会資本整備総合交付金を活用し、老朽化した施設の更新や園路整備、トイレのバリアフリー化を行いました。									
		【改修前】		【改修後】							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		公園再整備数			か所	6	8	4			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							公園の再整備を進めることで、誰もが安全・安心に利用できる公園環境が確保されるため、「4」としました。		
効率性			●						公園の再整備には多額の費用を要するが、計画的に実施することでライフサイクルコストの縮減が図られるため、「3」としました。		
公平性		●							市内一円の老朽化が進行している公園から順次、再整備を進めており、地域を限定せずに安全・安心に利用できる公園環境を確保しているため、「4」としました。		
将来性			●			市内の公園は開設から30年以上経過しているものが多く、遊具をはじめとする施設の老朽化が進行していることから、継続した事業実施により、効果が高まるため、「3」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、より効率的な事業とするため、今後の人口減少を踏まえた公園の再編や統廃合を考慮しながら実施していきたいと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040302

事業名		単独事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課			
根拠法令		都市公園法						
令和3年度決算額	94,006	千円	項目評価			総合評価 <b>A</b>		
財源内訳	国道支出金	千円						
	地方債	50,200					千円	
	その他	2,820					千円	
	一般財源	40,986					千円	
事業費（総計）	112,600	千円						
決算額	94,006	千円						
人件費	18,594	千円						
事業の目的	公園施設の更新・補修を計画的に行い、誰もが安全・安心に利用できる公園の維持管理を行います。							
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>公園施設の計画的な更新・補修を行いました。</p> <p>1 遊具更新</p> <p>2 遊具補修（部材の補修）</p>							
実施結果 （活動指標）	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
	遊具更新基数		基	11	4	13		
	遊具補修工事		公園	35	30	62		
項目評価	高→低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						公園施設の計画的な更新・補修を行うことは、誰もが安全・安心に公園を利用するために必要な事業であるため、「4」としました。
	効率性		●					事業費の縮減や平準化を図るため、点検結果に基づき、計画的に更新・補修を行っていることから、「3」としました。
	公平性	●						施設の更新・補修については、地域の意見を参考にしているため、「4」としました。
将来性		●			本事業については、誰もが安全・安心に公園を利用するために継続して実施していく必要があることから「3」としました。			
総合評価	<b>A</b>				項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できていますが、今後、老朽化が進む公園施設の増加が見込まれるため、耐用年数の高い製品の使用など、事業費抑制に取り組んでいきたいと考えています。			
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040303

事業名		空港周辺環境対策事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令		都市公園法							
令和3年度決算額	16,861	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	13,489 千円							
	一般財源	3,372 千円							
事業費（総計）	22,074	千円							
決算額	16,861	千円							
人件費	5,213	千円							
事業の目的	空港騒音の影響を受ける住民の生活環境等の改善を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>空港周辺環境対策事業の助成金を活用し、老朽化した遊具等の更新を行い、公園利用者の安全・安心を確保しました。また、空港周辺住民の利便性の向上や活動支援のため、草刈等に必要な資器材を購入しました。</p> <p style="text-align: center;">【改修後の遊具】</p>  <p style="text-align: center;">【芝刈機2台、刈払機1台、草刈機1台】</p> 								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度			
	公園再整備数		か所	1	-	-			
	資器材購入（草刈り機、除雪機等）		台	4	4	-			
項目評価	高→低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●						公園の再整備を進めることで、誰もが安全・安心に利用できる公園環境が確保されたこと、また、適正な公園の維持管理を行うためには、資器材が必要であることから、「4」としました。	
	効率性		●					公園の再整備には多額の費用を要するが、計画的に実施することでライフサイクルコストの縮減が図られること、また、計画的に必要な資器材を購入していることから、「3」としました。	
	公平性			●				本事業については、対象地域が限定されていることから、「3」としました。	
将来性				●	本事業の対象地域内の公園は、開設から20年以上経過しているものがあり、遊具をはじめとする施設の老朽化が進行していることから、継続した事業実施により、効果が高まるため、「3」としました。				
総合評価	A				項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効率的な事業とするため、今後の人口減少を踏まえた公園の再編や統廃合を考慮しながら実施していきたいと考えています。また、適正な公園の維持管理を継続していくため、計画的な資器材購入の検討をしていきたいと考えています。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040401

事業名		森林整備事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		森林法									
令和3年度決算額	4,975	千円	項目評価				<b>総合評価</b> <b>A</b>				
財源内訳	国道支出金	1,821	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	3,154	千円								
事業費（総計）	5,679	千円									
決算額	4,975	千円									
人件費	704	千円									
事業の目的	森林の効用であるレクリエーション機能や土砂流出防止など、森林の有する多面的機能を発揮させるため、市有林やその他の民有林の整備と保全を図ります。										
事業の内容	SDGs17の目標 1 高丘森林公園修繕工事 便所の屋根と園路の階段を改修しました。 2 苫小牧市豊かな森づくり推進事業 森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林所有者へ伐採後の造林に対し助成を行いました。										
	【高丘森林公園修繕工事】 			【苫小牧市豊かな森づくり推進事業】 							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度					
	高丘森林公園修繕			便所・階段	シカ柵補修	園路380m					
	苫小牧市豊かな森づくり推進事業		ha	14	-	-					
	苫小牧市未来につながる森づくり推進事業		ha	-	16	9					
項目評価	高→低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							高丘森林公園整備や森林の更新に対する助成の取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。		
	効率性		●						森林の利用向上に直接的に繋がるものではないが、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させる事業であるため、「3」としました。		
	公平性	●							森林の有する多面的機能は市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。		
将来性	●				森林は持続可能な資源であり、市民に対して継続して実施していく必要があることから「4」としました。						
総合評価	<b>A</b>				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、高丘森林公園の認知度や利用を高める取組を実施していきたいと考えています。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040402

事業名		緑の基本計画事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課																																		
根拠法令		都市緑地法																																					
令和3年度決算額		5,162	千円	項目評価																																			
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債		千円																																				
	その他	1,376	千円																																				
	一般財源	3,786	千円																																				
事業費（総計）		6,780	千円																																				
決算額		5,162	千円																																				
人件費		1,618	千円	総合評価	A																																		
事業の目的		緑の保全と緑化を推進するため、市民との協働による緑化や、樹木との触れ合いを通じて木に親しみ、緑への理解を深めてもらいます。																																					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>15 陸の豊かさを保ち増やす</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>町内会等緑化推進事業・緑化推進基金活用事業 町内会や緑化活動団体に対して、緑化資材の提供や助成を行いました。</li> <li>市民植樹祭準備業務 市民参加の植樹祭を開催するにあたり、植樹の準備を行いました。</li> <li>樹木リサイクル事業 伐採した街路樹を活用し、木製ベンチの部材やプランターを設置する台などを制作しました。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【緑化推進基金活用事業】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【市民植樹祭】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【樹木リサイクル事業】</p> </div> </div>																																					
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町内会等緑化推進事業、緑化推進基金活用事業</td> <td>団体</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>市民植樹祭準備業務（植樹本数）</td> <td>本</td> <td>335</td> <td>中止</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td>樹木リサイクル事業</td> <td></td> <td>ベンチ、花台</td> <td>コースター、机・椅子</td> <td>木球、コマ</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度	町内会等緑化推進事業、緑化推進基金活用事業	団体	24	15	23	市民植樹祭準備業務（植樹本数）	本	335	中止	405	樹木リサイクル事業		ベンチ、花台	コースター、机・椅子	木球、コマ														
指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度																																			
町内会等緑化推進事業、緑化推進基金活用事業	団体	24	15	23																																			
市民植樹祭準備業務（植樹本数）	本	335	中止	405																																			
樹木リサイクル事業		ベンチ、花台	コースター、机・椅子	木球、コマ																																			
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高→低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>花や緑を通じて地域の人との繋がりと本市の環境美化に貢献する取組であり、また、持続可能な樹木の活用を伝える有効的な事業であるため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>資材や木材の製材化には費用を要するが、市民参加の活動であり、また木材は持続可能な資源であることから、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>花や緑で公園や街路を飾ることは、本市の景観美化に貢献する取組であるが、木製品については一部地域での活用であったことから、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>市民との協働による緑化活動や、樹木の木材としての活用は持続可能な取組であることから、「4」としました。</td> </tr> </tbody> </table>					高→低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				花や緑を通じて地域の人との繋がりと本市の環境美化に貢献する取組であり、また、持続可能な樹木の活用を伝える有効的な事業であるため、「4」としました。	効率性		●			資材や木材の製材化には費用を要するが、市民参加の活動であり、また木材は持続可能な資源であることから、「3」としました。	公平性		●			花や緑で公園や街路を飾ることは、本市の景観美化に貢献する取組であるが、木製品については一部地域での活用であったことから、「3」としました。	将来性	●				市民との協働による緑化活動や、樹木の木材としての活用は持続可能な取組であることから、「4」としました。
	高→低				評価の理由																																		
	4	3	2	1																																			
有効性	●				花や緑を通じて地域の人との繋がりと本市の環境美化に貢献する取組であり、また、持続可能な樹木の活用を伝える有効的な事業であるため、「4」としました。																																		
効率性		●			資材や木材の製材化には費用を要するが、市民参加の活動であり、また木材は持続可能な資源であることから、「3」としました。																																		
公平性		●			花や緑で公園や街路を飾ることは、本市の景観美化に貢献する取組であるが、木製品については一部地域での活用であったことから、「3」としました。																																		
将来性	●				市民との協働による緑化活動や、樹木の木材としての活用は持続可能な取組であることから、「4」としました。																																		
総合評価		A				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、市民のニーズを把握することに努めていきたいと考えています。																																	
特記事項																																							



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040403

事業名		市有林整備事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課																																		
根拠法令		森林法																																					
令和3年度決算額		236	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> <td colspan="4"> </td> <td rowspan="2"> <table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> <td>A</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（総計）</td> <td>940</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国道支出金</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>236</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>236</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> <td>704</td> <td>千円</td> </tr> </table>	項目評価						<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> <td>A</td> </tr> </table>	総合評価	A	事業費（総計）		940	千円	財源内訳	国道支出金		千円	地方債		千円	その他	236	千円		一般財源		千円	決算額		236	千円	人件費		704	千円
項目評価						<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> <td>A</td> </tr> </table>	総合評価	A																															
総合評価	A																																						
事業費（総計）		940	千円																																				
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債		千円																																				
	その他	236	千円																																				
	一般財源		千円																																				
決算額		236	千円																																				
人件費		704	千円																																				
事業の目的		森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくため、市有林の森林経営計画を策定し森林整備を継続的に行います。																																					
事業の内容 SDGs17の目標		  森林の保育（野ねずみ駆除） A=56ha																																					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度																																
		森林の保育(野ねずみ駆除)		ha	56	54	54																																
項目評価		高→低		評価の理由																																			
		4	3	2	1																																		
有効性		●				市有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。																																	
効率性			●			市有林の森林経営計画に基づき行われる事業であるが、森林の経営は長い期間を要することから、「3」としました。																																	
公平性		●				森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。																																	
将来性		●				森林は持続可能な資源であり、継続して実施していく必要があることから、「4」としました。																																	
総合評価		A		項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、効率的な作業を検討していきたいと考えています。																																			
特記事項																																							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040404

事業名		地域おこし協力隊事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令		森林法							
令和3年度決算額	1,000	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	1,000	千円						
事業費（総計）	1,704	千円							
決算額	1,000	千円							
人件費	704	千円							
事業の目的	<p>地域おこし協力隊制度は、人口減少や高齢化等が進んでいる地方部において地域力の維持または強化を図るため、一定期間、都市部の人々が地域に移住して地域協力活動を行いながら、定住・定着を図ります。</p>								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>1 苦小牧市地域おこし協力隊起業等支援補助金 元協力隊員に起業に要する機具購入の支援を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【馬を活用した森林整備】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【馬搬機具】</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>								
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度		
	地域おこし協力隊への支援				起業支援	活動支援	活動支援		
項目評価	高→低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							地域協力活動を行いながら、個人事業主として地域への定住・定着という目的を果しているため、「4」としました。
	効率性	●							多くの人と連携し各種事業に取り組んでいるため、「4」としました。
	公平性		●						活動の場が森林という限定的ではあるが、誰もが活動に参加することができることから、「3」としました。
将来性	●				森林のみならず様々な分野での活用ができる取組であることから、「4」としました。				
総合評価	A				<p>項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開することができ、地域協力活動を行いながら本市に定住し起業したことから、目的は達成できたと考えています。</p>				
特記事項									





事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040405

事業名		緑化推進基金積立金		担当部署	都市建設部 緑地公園課																					
根拠法令		苫小牧市緑化推進基金条例																								
令和3年度決算額		13,869	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有効性</td> <td rowspan="4"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">将来性</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">公平性</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">効率性</td> </tr> </table>	項目評価		有効性		将来性	公平性	効率性	<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>			総合評価	A										
項目評価																										
有効性																										
将来性																										
公平性																										
効率性																										
総合評価																										
A																										
財源内訳	国道支出金		千円																							
	地方債		千円																							
	その他	13,869	千円																							
	一般財源		千円																							
事業費（総計）		14,221	千円																							
決算額		13,869	千円																							
人件費		352	千円																							
事業の目的		本市の緑化を推進する事業等に必要な経費の財源に充てるため、寄附金や市有林の立木売却収入を積み立てます。																								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <table border="1"> <tr> <td>令和2年度末基金残高</td> <td>78,384,106円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度基金積立金</td> <td>13,869,001円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度基金取崩し額</td> <td>1,605,150円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度末基金残高</td> <td>90,647,957円</td> </tr> </table>						令和2年度末基金残高	78,384,106円	令和3年度基金積立金	13,869,001円	令和3年度基金取崩し額	1,605,150円	令和3年度末基金残高	90,647,957円											
令和2年度末基金残高	78,384,106円																									
令和3年度基金積立金	13,869,001円																									
令和3年度基金取崩し額	1,605,150円																									
令和3年度末基金残高	90,647,957円																									
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金の年度末残高</td> <td>千円</td> <td>90,648</td> <td>78,384</td> <td>80,273</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度	基金の年度末残高	千円	90,648	78,384	80,273										
指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度																						
基金の年度末残高	千円	90,648	78,384	80,273																						
項目評価		高→低				評価の理由																				
		4	3	2	1																					
有効性		●						温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備や花植え等の環境美化活動の財源に充てており、安全・安心で、美しいまちづくりに寄与していることから、「4」としました。  寄附金などを効率的に将来の事業に充てることのできるため、「4」としました。  温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備やまちの環境美化の財源に充てている事業であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。  木材売却と寄附金により成り立っている基金であり、安定的な積立金が見込めないことから、「3」としました。																		
効率性		●																								
公平性		●																								
将来性			●																							
総合評価		A				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、基金の活用については十分に検討していきたいと考えています。																				
特記事項																										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040406

事業名		森林環境譲与税基金積立金		担当部署	都市建設部 緑地公園課																					
根拠法令		森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、苫小牧市森林環境譲与税基金条例																								
令和3年度決算額		33,091	千円	項目評価																						
財源内訳	国道支出金		千円																							
	地方債		千円																							
	その他	4	千円																							
	一般財源	33,087	千円																							
事業費（総計）		33,443	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 <b>A</b></div>																						
決算額		33,091	千円																							
人件費		352	千円																							
事業の目的		森林の整備に関する施策や、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する多面的機能に関する普及啓発など、森林の整備の促進に関する施策の費用に充てることを目的に、譲与される森林環境譲与税を基金に積み立てます。																								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> </div> <div> </div> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">令和2年度末基金残高</td> <td style="text-align: right;">48,886,314円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度基金積立金</td> <td style="text-align: right;">33,091,345円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度基金取崩し額</td> <td style="text-align: right;">16,567,000円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度末基金残高</td> <td style="text-align: right;">65,410,659円</td> </tr> </table>						令和2年度末基金残高	48,886,314円	令和3年度基金積立金	33,091,345円	令和3年度基金取崩し額	16,567,000円	令和3年度末基金残高	65,410,659円											
令和2年度末基金残高	48,886,314円																									
令和3年度基金積立金	33,091,345円																									
令和3年度基金取崩し額	16,567,000円																									
令和3年度末基金残高	65,410,659円																									
実施結果（活動指標）		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金の年度末残高</td> <td>千円</td> <td style="text-align: center;">65,411</td> <td style="text-align: center;">48,886</td> <td style="text-align: center;">15,675</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度	基金の年度末残高	千円	65,411	48,886	15,675										
指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度																						
基金の年度末残高	千円	65,411	48,886	15,675																						
項目評価		高→低				評価の理由																				
		4	3	2	1																					
有効性		●						<p>温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備の推進に活用する基金であることから、「4」としました。</p> <p>譲与金を計画的に将来の事業に充てることのできるため、「4」としました。</p> <p>災害に強い森林への整備に充てていく基金であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。</p> <p>森林の整備に充てるための基金であり、今後、持続的に森林の恩恵を受けることのできることから、「4」としました。</p>																		
効率性		●																								
公平性		●																								
将来性		●																								
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、基金の活用については計画的に実施していきたいと考えています。																				
特記事項																										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040407

事業名		全国育樹祭事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令											
令和3年度決算額		695	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	695	千円								
事業費（総計）		1,399	千円								
決算額		695	千円								
人件費		704	千円								
事業の目的		第44回全国育樹祭において、全国から訪れる来場者をもてなし本市をPRします。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを <span style="margin-left: 20px;">15 陸の豊かさを保ち増進</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>全国育樹祭ノベルティグッズ製作 とまチョップの絵柄が入ったエコバック作成して、記念行事等で配布しました。</li> <li>とまチョップ水提供 本市で行われた「お手入れ行事」において、参加者にとまチョップ水を提供しました。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>【エコバック】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【とまチョップ水ブース】</p> </div> </div>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							多くの参加者や来場者に提供することが出来たことから、「4」としました。		
効率性		●							とまチョップの絵柄が入ったエコバックや本市の「おいしい水」を多くの参加者や来場者に提供することが出来、本市のPRが出来たことから、「4」としました。		
公平性		●							参加者や来場者への配布ではあったが、市外の方々に本市をPRできたことから、「4」としました。		
将来性		●				全国規模の行事において、おもてなしと本市のPRは必要な取組であることから、「4」としました。					
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおり目的に適った事業を展開できたと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040408

事業名		森林経営管理事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		森林経営管理法									
令和3年度決算額		16,467	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	16,467	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		17,876	千円								
決算額		16,467	千円								
人件費		1,409	千円								
事業の目的		市が森林所有者から経営管理権を取得した上で、自ら経営管理を行い、又は経営管理実施権を民間事業者に設定する等の措置を講ずることにより、林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進を図り、もって林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮に資することを目的とします。									
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> </div> </div> <p>1 航空写真測量調査業務 市内の民有林の現状を確認する為、航空写真測量調査を行い林相区分図を作成しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【航空写真】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【林相区分図】</p> </div> </div>									
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							民有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。		
効率性			●						今後、森林所有者の意向を確認し森林整備を行っていく事業であり、森林の整備には長い時間を有することから「3」としました。		
公平性		●							森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。		
将来性		●				森林の有する多面的機能を発揮させる為、継続して実施していく必要があることから、「4」としました。					
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、他市町村の先行事例を参考に実施いきたいと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040409

事業名		全国都市緑化北海道フェア事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令											
令和3年度決算額		9,930	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	6,930	千円								
	一般財源	3,000	千円								
事業費（総計）		11,339	千円								
決算額		9,930	千円								
人件費		1,409	千円								
事業の目的		令和4年6月開催される第39回全国都市緑化北海道フェアに出光カルチャーパーク・サンガーデンを協賛会場として参加し、「苫小牧」の豊かな緑と自然の魅力を発信します。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>サンガーデン及び市民文化公園補修工事 サンガーデンの壁面及び天井塗装などの補修の他、人工芝の敷設、案内看板やWi-Fiの設置など施設の充実を図りました。</li> <li>フェア苫小牧実行委員会への補助金 会場に飾る花苗や容器の購入や育成費用など開催に向けた準備費用として、実行委員会に補助金を交付しました。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>【人工芝敷設】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【花の育成】</p> </div> </div>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		サンガーデン及び市民文化公園の補修			千円	6,930	-	-			
		実行委員会への補助金			千円	3,000	-	-			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							フェア開催に向け会場施設が改善され、また、展示に必要な資材などに活用されたことから、「4」としました。		
効率性		●							施設の状況確認を行った上で、必要な箇所を改善できたことから「4」としました。		
公平性		●							フェアの来場者が恩恵を受けるだけでなく、フェアを通じ本市を発信できることから、「4」としました。		
将来性		●				施設改善によりフェア後の施設利用の促進と、フェアを通じ本市の豊かな緑や自然の魅力を発信できる取組であることから、「4」としました。					
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおり目的に適った事業を展開でき、また、市民のみならず市外の来場者をお迎えする準備が進められたと考えています。					
特記事項											


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050201

事業名		住宅建設事業【継続事業】		担当部署	都市建設部 住宅課						
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法									
令和3年度決算額	1,580,060	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金	719,294	千円								
	地方債	761,200	千円								
	その他	31,669	千円								
	一般財源	67,897	千円								
事業費（総計）	1,592,603	千円									
決算額	1,580,060	千円									
人件費	12,543	千円									
事業の目的	市営住宅の老朽化に伴い、建替え等による住環境の整備が急務となっている中で、少子高齢化の進行や人口減少など社会情勢の変化に配慮しながら、良質で快適な生活を営める住環境を整備します。										
事業の内容 SDGs17の目標	 <ol style="list-style-type: none"> <li>日新団地における新築住宅の建設・既存住宅の解体等             <ol style="list-style-type: none"> <li>日新団地の6棟目（日新町4丁目11-11、新9号棟5F60戸）が完成し、供用開始するとともに、7棟目（新8号棟5F30戸）の建設に着手しました。</li> <li>日新町4丁目11-5, 6, 7（計100戸）の解体を行いました。</li> </ol> </li> <li>日新団地における新築及び解体実施設計             <ol style="list-style-type: none"> <li>令和4年度に着工予定の日新団地新12号棟（5F60戸）の新築実施設計を行いました。</li> <li>令和4年度に解体予定の日新町4丁目4-2, 3（計80戸）の解体実施設計を行いました。</li> </ol> </li> <li>末広町1丁目12-1の建替えに伴う入居者の移転 仮移転先の住戸修繕及び移転対象世帯への移転補償を行いました。</li> </ol>										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度					
	建設住宅		戸	60	60	0					
	解体住宅		戸	100	0	100					
項目評価	高→低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							建替事業の実施は、老朽化住宅の解消と管理戸数の適正化が同時に実現するなど即効性が高く効果的であるため「4」とします。		
	効率性		●						国庫補助や地方債の対象となる事業についてはそれらの財源を活用し、対象外事業も必要性を鑑みて実施しているため「3」とします。		
	公平性			●					安全性の確保及び老朽化した住宅の解消を基本方針として建替え対象の住宅を設定し、今後の整備計画を公表しているため「3」とします。		
将来性	●				将来人口や世帯数推計に基づいた適正管理戸数に向け、建替え等による団地再編を実施しているため「4」とします。						
総合評価	A				建替事業は計画通りに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られ、国費の効果的活用も図っています。今後の社会情勢の変化を見据えた適正な管理戸数に向け、各事業を着実に実施していきたいと考えています。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050202

事業名		除却事業		担当部署	都市建設部 住宅課			
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法						
令和3年度決算額	208,377	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>	
財源内訳	国道支出金	72,555	千円					
	地方債	77,900	千円					
	その他	57,922	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）	211,759	千円						
決算額	208,377	千円						
人件費	3,382	千円						
事業の目的	安全面や今後の用地活用の観点から、老朽化が著しい市営住宅について、計画的な用途廃止・除却を行います。							
事業の内容 SDGs17の目標	<p>1 旭町市営住宅（2-1-1、2-3-4）計80戸の除却を行いました。</p> <p>2 高砂町市営住宅（2-5-4）36戸の除却を行いました。</p>							
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度	
	除却住宅			戸	116	0	0	
項目評価	高→低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						除却事業の実施により、老朽化住宅の解消と管理戸数の適正化が図られるなど一定の効果があるため「3」とします。
	効率性	●						国庫補助や地方債の対象となる事業についてはそれらの財源を活用し、対象外事業も必要性を考慮して実施しているため「3」とします。
	公平性	●						安全性の確保及び老朽化した住宅の解消を基本方針として除却対象の住宅を設定し、今後の整備計画を公表しているため「3」とします。
将来性	●			将来人口や世帯数推計に基づいた適正な管理戸数に向け、除却等による団地再編を継続的に実施しているため「3」とします。				
総合評価	<b>A</b>				除却事業は概ね計画通りに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られています。国費を効果的に活用するとともに、地域や入居者等の状況の変化と事業計画との整合を適宜図りながら、円滑に事業を進めていきます。			
特記事項								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050203

事業名		住宅改善事業		担当部署	都市建設部 住宅課						
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法									
令和3年度決算額		218,207	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>			
財源内訳	国道支出金	81,095	千円								
	地方債	81,000	千円								
	その他	56,112	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		228,211	千円								
決算額		218,207	千円								
人件費		10,004	千円								
事業の目的		市営住宅の多くで老朽化が進む中、今後も長期間維持管理していく住宅については、入居者が安全・安心に暮らせるよう、計画的な改善・改修工事を行い、建物の長寿命化を図っていきます。									
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>大成町市営住宅（1-1-1）外部等改修工事を行いました。 156戸</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		改善・改修住宅			戸	156	889	1,275			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							今後も維持管理する住宅については、長寿命化計画に基づく改善事業を実施することにより、建物のライフサイクルコスト縮減に効果があるため「4」とします。		
効率性			●						国庫補助や地方債の対象となる事業についてはそれらの財源を活用し、対象外事業も必要性を考慮して実施しているため「3」とします。		
公平性			●						建物の長寿命化や安全性確保等に寄与する事業手法を選定し、苫小牧市営住宅等長寿命化計画として公表しているため「3」とします。		
将来性			●			今後も維持管理が必要な市営住宅について、長寿命化を図ることで計画的な住宅の更新が可能となるため「3」とします。					
総合評価		<b>A</b>				市営住宅の老朽化が進む一方で、今後も多くの住宅を健全な状態で維持管理していく必要があることから、計画に基づく各事業を着実に実施していきます。					
特記事項											



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050204

事業名		熱供給設備等改修事業		担当部署	都市建設部 住宅課						
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法									
令和3年度決算額		7,399	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	7,399	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		13,033	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 <b>A</b></div>							
決算額		7,399	千円								
人件費		5,634	千円								
事業の目的		地域暖房・給湯を採用している市営住宅は、建設からの経過年数によって建物同様、熱供給設備の老朽化も進んでいます。入居者が安全・安心に暮らせるよう、修繕工事を行い、ライフラインの維持に努めていきます。									
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> <li>山手町ボイラープラント設備改修工事を行いました。 （供給先）山手町市営住宅（2-9-1） 225戸 山手町市営住宅（2-9-4） 40戸</li> <li>大成町熱供給施設温水ポンプ分解整備外工事を行いました。 （供給先）大成町市営住宅（1-1-1） 156戸 大成町市営住宅（1-9-1） 208戸 大成町市営住宅（1-11-1） 144戸 大成町市営住宅（1-13-1） 98戸 青葉町市営住宅（1-4-3） 20戸</li> </ol>									
実施結果 （活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		修繕対象			戸	891	633	265			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性			●						設備の老朽化度合や不具合の状況を判断しながら実施しており、各住戸へ安定した暖房・給湯を行う効果があるため「3」とします。		
効率性			●						修繕工事により安定した暖房・給湯の供給が可能となるため「3」とします。		
公平性			●						市営住宅の今後の整備方針や事業手法などの見通しについては、計画を策定し公表しているため「3」とします。		
将来性			●			修繕工事により安定した暖房・給湯の供給が可能となるため「3」とします。					
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおり目的にかなった事業を実施しており、引き続きライフライン維持のために必要となる修繕を実施していきます。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050205

事業名		日新団地熱源改修事業		担当部署	都市建設部 住宅課				
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法							
令和3年度決算額		21,956	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>総合評価</b>   <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</span> </div> </div>					
財源内訳	国道支出金	4,994	千円						
	地方債	4,900	千円						
	その他	12,062	千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）		28,295	千円						
決算額		21,956	千円						
人件費		6,339	千円						
事業の目的		日新団地において地域暖房及び給湯を供給している事業者の事業終了に伴い、暖房給湯設備の個別化工事を行います。							
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div> <p>1 暖房設備等改修実施設計を行いました。（日新町3-2-2外6棟）</p> <p>2 暖房設備等改修に伴う住民説明会を実施しました。</p> </div> </div>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		住民説明会		回	2	-	-		
項目評価		高→低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性	●				暖房設備等の改修により、対象住戸を引き続き利用することが可能となるため「4」とします。		
		効率性		●			国庫補助や地方債の対象となる事業についてはそれらの財源を活用し、対象外事業も必要性を考慮して実施しているため「3」とします。		
		公平性		●			対象住戸の入居者への説明会を通じ、改修内容について理解が得られているため「3」とします。		
将来性		●			本事業の実施により、対象住戸を長期にわたり利用することが可能となるため「3」とします。				
総合評価		A				熱供給事業者の事業終了後も対象住戸の居住を可能とするため、本事業を着実に実施していきます。			
特記事項									